

日本植物学会企画シンポジウム 植物科学最前線  
「多様な物質を生み出す力 - 二次代謝の機能と制御

オーガナイザー

加藤 美砂子

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻  
〒112-8610 文京区大塚 2-1-1

青木 俊夫

日本大学生物資源科学部  
〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866

本特集は、日本植物学会第75回大会のシンポジウム「多様な物質を生み出す力 - 二次代謝の機能と制御-」の内容を総説にして取りまとめたものです。このシンポジウムは、最近の植物科学研究の手法、現状、今後の展開について発表・討議する総説的・教育的なシンポジウムとして日本植物学会広報委員会によって企画されました。

かつて、植物の二次代謝は必須の一次代謝とは異なり、植物の生活には直接必要ではない物質の代謝であると認識されていました。しかし、近年の研究技術の進歩と相まって、二次代謝研究は飛躍的な展開を遂げ、二次代謝産物の積極的な役割が注目を浴びています。生体防御の手段として、昆虫等の誘因物質として、シグナル伝達物質として等々、まさに、長い歴史の中で植物が備え持つようになった生存戦略に二次代謝は大きな貢献をしています。多彩という言葉がよく似合う二次代謝産物の構造の多様性は、複雑に進化した生合成系の酵素に支えられ、それが生物多様性へとつながっています。本シンポジウムでは、こうした二次代謝産物をつくりだす原動力に焦点をあて、さまざまな角度から二次代謝研究にアプローチしている若手・中堅研究者を精選し、講演をお願いしました。

本特集は、講演者の最新の研究成果を盛り込んだ内容をまとめました。魅力的な二次代謝ワールドへ皆様に誘います。本特集を十分にお楽しみいただき、皆様の今後の研究の糧としていただければ嬉しく思います。